

職場環境要件項目	当法人としての取り組み
入職促進に向けた取り組み	
法人や事業所の経営理念や支援方針・人材育成方針 その実現のための施策・仕組みなどの明確化	法人理念を掲示し、面談時に共有を図っている。 OJTチェックシートや自己評価シートを元に定期的に面談、 振り返りをして人材育成につなげている。 京都府の就労・奨学金返済一体型支援事業の交付決定を 受け、奨学金返済支援制度を設けている。
他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者、経験者・ 有資格者にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築	主婦層、中高年齢者の採用実績有り。 採用後育成計画に基づいて資格取得を支援している。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	
働きながら国家資格の取得を目指す者に対する研修 受講支援や、より専門性の高い支援技術を取得しよう とする者に対する各国家資格の生涯研修制度、 サービス管理責任者研修、喀痰吸引研修、強度行動 障害支援者養成研修等の業務関連専門技術研修の受講 支援等	実務者研修、喀痰吸引研修受講時は研修費の補助を 行っている。（人材開発支援助成金を活用） 介護福祉士・保育士試験受験の奨励を行うとともに、 法人内で受験講座を開催し、合格者にはお祝い金 制度、昇給の仕組み（資格手当）を整えている。 勤務シフトの考慮、代替職員を確保し職員が研修 を受けやすい環境を整えている。
研修の受講やキャリア段位制度等と人事考課との連動 によるキャリアサポート制度等の導入	階層別人材育成計画を作成し、研修の受講をして いる。キャリアパスの制度を整えている。
エルダー・メンター（仕事やメンタル面のサポート等 をする担当者）制度等の導入	OJT研修を受講した職員が新人指導を担当して いる。人事異動時も定期的にOJT面談をしている。
上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリア アップ・働き方に関する定期的な相談の機会の確保	上位者による年2回の面談を行っている。
両立支援・多様な働き方の推進	
子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指すための 休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備	介護時短勤務の取得実績あり。
職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間 正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規 職員から正規職員への転換の制度等の整備	各人の働き方を尊重しつつ、勤務シフトを組んで いる。非正規職員から正職員への転換の実績あり。
有給休暇が取得しやすい雰囲気・意識作りのため、 具体的な取得目標を定めた上で、取得状況を定期的に 確認し、身近な上司等からの積極的な声かけ等に取り 組んでいる	各事業所の推進者が取得の推進をしている。 利用者数連動休暇を設けている。年3回有休取得推進 会議を開催し、取得状況を確認している。
有給休暇の取得促進のため、情報共有や複数担当制 等により、業務の属人化の解消、業務配分の偏りの 解消に取り組んでいる	代替職員を確保し、取得しやすい環境を整えている。
腰痛を含む心身の健康管理	
短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレス チェックや、従業者のための休憩室の設置等健康 管理対策の実施	正規職員の健康診断、非正規職員を含めた全員の インフルエンザ予防接種の補助を行っている。 従業者のための休憩室の設置、敷地内全面禁煙を 行っている。
福祉・介護職員の身体の負担軽減のための介護技術 の修得支援やリフト等の活用、職員に対する腰痛対策 の研修、管理者に対する雇用管理改善の研修等の実施	リフトを3台設置して、職員の負担軽減を行って いる。
事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の 体制の整備	事故発生時の対応マニュアルを作成、苦情対応 マニュアルを作成し、責任者を決めている。

生産性向上（業務改善及び働く環境改善）のための業務改善の取り組み	
現場の課題の見える化（課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等）を実施している	毎月業務時間調査を行い、残業時間の確認をしている。
5S活動（業務管理の手法の1つ、整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの）等の実践による職場環境の整備を行っている	毎日の清掃、清潔に努め、週1回事業所内の安全点検で整理整頓の習慣付けを行っている。
業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っている	業務手順書を作成、記録様式は適宜改良に努めている。
業務内容の明確化と役割分担を行い、福祉・介護職員が支援に集中できる環境を整備。特に間接業務（食事等の準備や片付け、清掃、ベッドメイク、ごみ捨て等）がある場合は、いわゆる介護助手等の活用や外注等で担うなど、役割の見直しやシフトの組み換え等を行う	利用者の昼食は外注し、支援に集中できる環境にしている。業務内容表、役割分担表を作成し、職員の業務分担を行っている。
やりがい・働きがいの構成	
ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の福祉・介護職員の気づきを踏まえた勤務環境や支援内容の改善	随時ミーティングを行い、業務内容、支援内容の改善を行うとともに、情報共有をしている。法人全体でもミーティングを行っている。
地域社会への参加・包容（インクルージョン）の推進のための、モチベーション向上に資する、地域の児童生徒や住民との交流の実施	福祉施設主催の作品展に一年間の作品を出展している。生活介護事業所では、カフェを開店して地域の方を招き、一緒に花植えをして交流している。
支援の好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供	支援会議や定例ミーティング時に情報を共有している。（ニコリハットの報告）

もくもくハウスは処遇改善加算Ⅰを取得しています。

もくもくケアは処遇改善加算Ⅰを取得しています。

もくよう海は処遇改善加算Ⅰを取得しています。